



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 榑本興業株式会社

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 榑本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,608	△3.3	206	△43.3	308	△29.0	114	△51.8
25年3月期第1四半期	18,213	17.1	364	219.3	434	152.9	236	469.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 873百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △245百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.55	—
25年3月期第1四半期	7.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	49,715	12,734	25.3
25年3月期	47,825	12,027	24.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,591百万円 25年3月期 11,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	3.00	—	5.00	円 銭	8.00
26年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	5.00	円 銭	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	1.1	980	0.1	1,050	0.0	500	15.5	15.54
通期	84,000	3.2	1,950	2.4	2,100	2.4	1,000	98.2	31.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	32,489,845 株	25年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	320,083 株	25年3月期	319,050 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	32,170,117 株	25年3月期1Q	32,178,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
受注、販売及び仕入の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新政権による経済政策及び金融緩和により景況感が回復し、実体経済への波及が期待されております。

世界経済は、依然として低迷が続く欧州経済に加え、中国経済の減速が見られるものの、米国経済の回復が確かさを増し、アセアン諸国の底堅い経済成長に支えられ、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況下にあつて、前年は東日本大震災及びタイ大洪水からの復旧による企業活動が好調に推移いたしました。新政権による景気刺激策から景気回復への期待感が高まったものの実体経済までの回復にはいたらず厳しい状況で推移いたしました。当企業グループでは、国内での厳しい設備投資状況の中、自動車関連業界、新エネルギー関連、環境関連、食品関連、医療・医薬関連業界に対して、国内外で営業協業体制を強化し積極的営業展開を行ってまいりましたが、下記の通り、前年同期に比べ減収、減益となりました。四半期純利益につきましては、前年度の不正取引に係わる過年度決算訂正関連費用として1億7百万円を特別損失に計上いたしましたため、1億14百万円にとどまりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	1 7 6 億 8 百万円	(前年同期比	9 6 . 7 %)
営業利益	2 億 6 百万円	(前年同期比	5 6 . 7 %)
経常利益	3 億 8 百万円	(前年同期比	7 1 . 0 %)
四半期純利益	1 億 1 4 百万円	(前年同期比	4 8 . 2 %)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本営業本部

北海道・東北・甲信越・関東地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約32%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において比較的好調な自動車関連業界の国外での設備投資及び液晶業界の設備投資回復に支えられたものの、半導体業界の長期にわたる低迷と国内での自動車部品需要が本格回復にいたらなかったことから、当本部の売上高は、57億1百万円（前年同期比81.7%）となりました。

中日本営業本部

東海地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約11%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において好調な自動車関連業界や食品業界、工作機械業界での設備投資に支えられたものの、航空機業界向けの売上が一巡したこと等により、当本部の売上高は、18億96百万円（前年同期比95.1%）となりました。

西日本営業本部

北陸・関西・中国・四国・九州地区において機械部品から搬送設備等の自動化・省力化商品を中心に顧客のニーズにあった最適な商品を提供している部門で、その売上高は全体の約31%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、このエリア（地区）において業績回復傾向にある鉄鋼業界、化学業界等への積極的営業展開と環境関連業界の設備投資の増加により、当本部の売上高は、55億10百万円（前年同期比116.6%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約26%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、依然好調な海外における自動車関連業界の設備投資に支えられたことと、国内外で医薬・介護・衛生関連商品及び三角ティーバッグ高速製造装置等の売上が寄与し、当本部の売上高は、45億0百万円（前年同期比99.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は497億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億90百万円増加いたしました。流動資産は5億54百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が8億54百万円増加、たな卸資産が7億95百万円増加、その他の流動資産が7億64百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が18億4百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、13億35百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前年連結会計年度末に比べ上昇したことにより10億62百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は369億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億83百万円増加いたしました。流動負債は9億31百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が8億30百万円増加したこと等によるものであります。一方、固定負債は2億51百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は127億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益を1億14百万円計上したこと、投資有価証券の時価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加6億85百万円の一方で、配当金の支払いを1億61百万円実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国の経済は、欧州経済の長期化する低迷に加え、中国経済の成長鈍化が見られるものの、米国経済の回復とアセアン諸国経済の底堅さに支えられるとともに、復興需要、成長戦略による経済対策の効果が期待できることから、国内外での設備投資の回復が予想されます。

当企業グループにおいては、営業体制の強化による協調体制を整え、コスト管理の強化体制を整備し、顧客密着営業を展開することで、目標達成に全力で取り組んでまいります。

上記の設備投資環境も次第に力強さを回復すると予想しており、このような状況を踏まえ、平成25年5月10日公表の業績予想を据え置くことといたします。

(通期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結当期純利益 (百万円)
通期	84,000	1,950	2,100	1,000

(第2四半期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結四半期 純利益 (百万円)
第2四半期(累計)	42,000	980	1,050	500

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,465	6,320
受取手形及び売掛金	30,256	28,451
電子記録債権	153	124
商品及び製品	1,598	1,912
仕掛品	399	881
繰延税金資産	143	135
その他	792	1,556
貸倒引当金	△156	△174
流動資産合計	38,653	39,208
固定資産		
有形固定資産	647	957
無形固定資産	44	41
投資その他の資産		
投資有価証券	7,345	8,408
長期未収入金	1,451	1,451
その他	1,260	1,226
貸倒引当金	△1,577	△1,577
投資その他の資産合計	8,480	9,508
固定資産合計	9,172	10,507
資産合計	47,825	49,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,161	29,991
短期借入金	130	130
未払法人税等	366	69
前受金	1,076	1,570
繰延税金負債	9	5
工事損失引当金	—	10
偶発損失引当金	640	640
その他	680	578
流動負債合計	32,065	32,996
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	1,179	1,168
長期未払金	343	306
繰延税金負債	0	300
その他	209	209
固定負債合計	3,732	3,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債合計	35,798	36,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	5,747	5,700
自己株式	△86	△86
株主資本合計	10,412	10,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,528	2,213
繰延ヘッジ損益	△4	△1
為替換算調整勘定	△32	14
その他の包括利益累計額合計	1,492	2,225
少数株主持分	122	143
純資産合計	12,027	12,734
負債純資産合計	47,825	49,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	18,213	17,608
売上原価	15,687	15,188
売上総利益	2,525	2,420
販売費及び一般管理費	2,161	2,214
営業利益	364	206
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	73	76
持分法による投資利益	—	21
その他	18	23
営業外収益合計	93	121
営業外費用		
支払利息	6	6
売上割引	9	8
持分法による投資損失	0	—
手形及び売上債権売却損	—	0
その他	5	3
営業外費用合計	22	18
経常利益	434	308
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
貸倒引当金繰入額	25	—
過年度決算訂正関連費用	—	107
その他	1	0
特別損失合計	30	107
税金等調整前四半期純利益	403	201
法人税、住民税及び事業税	122	61
法人税等調整額	30	16
法人税等合計	153	78
少数株主損益調整前四半期純利益	250	123
少数株主利益	13	8
四半期純利益	236	114

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	250	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525	684
繰延ヘッジ損益	△3	2
為替換算調整勘定	26	53
持分法適用会社に対する持分相当額	7	10
その他の包括利益合計	△495	750
四半期包括利益	△245	873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△266	847
少数株主に係る四半期包括利益	21	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	中日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	6,979	1,995	4,727	4,510	18,213	—	18,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	497	104	266	493	1,362	△1,362	—
計	7,477	2,100	4,994	5,003	19,576	△1,362	18,213
セグメント利益	243	0	155	125	525	△161	364

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	525
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△157
四半期連結損益計算書の営業利益	364

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 営業本部 (百万円)	中日本 営業本部 (百万円)	西日本 営業本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
外部顧客への売上高	5,701	1,896	5,510	4,500	17,608	—	17,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	122	119	397	798	△798	—
計	5,860	2,019	5,630	4,897	18,407	△798	17,608
セグメント利益 又は損失(△)	38	△58	261	139	380	△174	206

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本営業本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
中日本営業本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むF Aシステム
西日本営業本部	
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	380
セグメント間取引消去	△4
全社費用(注)	△170
四半期連結損益計算書の営業利益	206

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

(1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本営業本部	6,120	△ 12.9	8,245	+ 5.4
中日本営業本部	2,308	△ 19.9	3,396	+ 5.9
西日本営業本部	7,926	+ 40.9	8,702	+ 16.7
開発戦略本部	5,142	△ 0.0	3,351	+ 17.4
調整額	△1,041	—	△3,282	—
合計	20,456	+ 2.1	20,412	+ 14.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	5,860	△ 21.6
中日本営業本部	2,019	△ 3.8
西日本営業本部	5,630	+ 12.7
開発戦略本部	4,897	△ 2.1
調整額	△798	—
合計	17,608	△ 3.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本営業本部	5,266	△ 17.2
中日本営業本部	1,841	△ 5.9
西日本営業本部	4,969	+ 10.6
開発戦略本部	4,694	△ 7.6
調整額	△798	—
合計	15,973	△ 3.3

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。